

みなみ公民館だより 2月号

(令和7年2月1日 発行)

編集 蕨市立南公民館 蕨市南町2-23-19

TEL 048-442-4055・FAX 048-443-0761

No.420



桜のまち南町文化展 だれでも参加できる美術展

春だ！桜だ！文化展 心癒す桜の開花を待ちながら 〈今だから描く 今だから創る〉に専心され
生み出された作品の数々を広く公開いたします。

美術・芸術文化に親しむ機会と共に生涯学習の推進を目的とします。

3月22日（土）10時～16時
23日（日）10時～15時30分

但し、23日（日）の3階集会室【蕨市公募美術展覧会受賞作品・一般作品（写真・絵画）】は、
12時までとなります。

主催 桜のまち南町文化展実行委員会・蕨市立南公民館

後援 南町コミュニティ委員会・南町7町会・みなみフレンズ・蕨市子ども会育成連合会南町支部・
南町桜並木保存会・蕨市社会福祉協議会南町支部・南町商和会

作品募集期間：2月4日（火）～3月5日（水）（平日10時～16時の間のみ）

作品の応募につきまして、詳しくは南公民館にお問い合わせください。

皆様の力作をお待ちしております。

講座のご案内

◆小学生～高校生の点字入門教室

日時 2月8日（土）10時～

場所 南公民館 2階団体連絡室

対象 市内の小学生～高校生

※登録制です。登録するには、事前に申込が
必要です。



◆おはなしくさん

日時 2月15日（土）14時～

場所 南公民館 3階集会室

内容 絵本の読み聞かせや工作

※今月は「おひなさまを作ろう」です。

◆にこにこ ONE TWO KIDS! (リトミック)

日時 2月20日（木）10時～

場所 南公民館 2階団体連絡室

対象 1歳児・2歳児のお子さんと保護者

定員 8組（先着順）

申込 2月3日（月）～ 電話・メール可

◆0歳児ママのふれあい広場

日時 2月27日（木）10時～

場所 南公民館 2階和室

内容 桃の節句 おひなさま

定員 10組（先着順）

申込 2月3日（月）～ 電話・メール可

◆ちびのびクラブ～春のお楽しみ会～

日時 3月13日（木）10時30分～

場所 交流プラザさくら 2階和室

内容 バルーンアートとパントマイム

定員 7組（先着順）

申込 2月3日（月）～
交流プラザさくら（048-432-7271）



◆初心者のためのスマートフォン教室

日時 2月18日（火）13時30分～

場所 南公民館 2階団体連絡室

内容 スマホの使い方・アプリの操作など

定員 12組（先着順）

申込 受付中 電話可



【お知らせ】 エコキャップ100個と花の苗1個を交換する「エコキャップ・花苗交換事業」が**2月10日(月)14時から15時まで**南公民館で開かれます。1家庭4鉢まで、交換は花苗がなくなり次第終了となります。



蕨市立くるみ保育園 ～おはなしくまさん!! とご対面♥～

園長 加藤

南公民館のイベントにお誘いをいただき、くるみ保育園の2歳児クラスがお邪魔することになりました。

お友達と手をつないで、ワクワクドキドキしながら歩いて公民館に向かい会場へ、「おはなしくまさん」による読み聞かせや手遊び、初めて見るタングラムシアターを見せていただきました。子ども達は、興味を示しとても楽しんでいました。

次に獅子舞が登場すると少しビックリする子ども達で、涙を浮かべる子もいましたが、保育者と一緒に頭をパクリとしてもらうと不思議と笑顔になり、子ども達と共に保育者も良い経験になったようです。

帰り道「才二いたね」「パクンした」という声もありましたが、「なでなでしたよ」と獅子舞の頭をなでることが出来て、とても嬉しそうにしていたそうです。

今年一年健康に過ごせますように・・・

河鍋暁斎記念美術館 2025年2月展覧会

企画展 暁斎・暁翠 福寿の魁(さきがけ) 展

同時開催 特別展 『暁斎絵日記』に見る年中行事—新年— 展

※新型コロナウイルスの感染防止対策等により、予定が急に変更される場合がありますので、最新の情報は美術館のホームページでご確認ください。 <http://kyosai-museum.jp>

会期：2025年1月4日(土)～2月24日(月振)

休館日：毎週火・木曜、毎月26日～末日、年末年始

入館料：一般 600円、高校生・大学生 500円、小・中学生 300円、65歳以上 500円

第1・2展示室では、新春にふさわしく、華やかで美しい作品を中心とした企画展を開催中です。また暁斎筆《走る恵比須・大黒天》、暁斎の息子・暁雲(きょううん)筆《鍾馗》、暁斎の娘で暁雲の妹・暁翠筆《布袋と童子》の、親子3人の作品が展示されているのも見どころです。

第3展示室では、暁斎が素早い筆遣いで毎日の出来事やその日描いた絵などを記録した貴重な絵日記の中から、明治18年1月の記録がパネルで展示されています。

【 今月のお勧め作品 】

布袋(ほてい)と童子(どうじ) 暁翠

七福神の中で唯一実在の中国の僧侶がモデルと言われる布袋は、大きなお腹を出し、袋を携え、いつも笑顔で、中国の子供たちに囲まれた姿でたびたび描かれています。

本図はたくさんの子供が、中国の君子の嗜みとされた「琴棋書画」や舞楽、闘鶏などをしている様子と共に、大きな大きな布袋が描かれています。数が多いこと、大きなことは、豊かさやめでたさにつながります。暁斎の娘の暁翠が描いた、縁起のよい掛軸作品です。

